



議会だより

なよろ

令和元年
第3回定例会

第54号

令和元年 11月1日
発行



目次

- 定例会で決まったこと 2
- 議決結果・賛否の分かれた議案 3
- 一般質問に13人・意見書・議会スナップ 4～10
- 名寄振興公社運営に関する審査特別委員会報告 11
- 決算審査特別委員会の概要・総括質疑 12～13
- 総務文教常任委員会活動報告・議会日誌 14
- 市民福祉常任委員会活動報告・議会スナップ 15
- 経済建設常任委員会活動報告・林活議連 16
- 議員協議会・議員研修会・議会運営委員会活動報告 17
- きぼう・編集後記 18

題字 名寄西小学校 織井 美希(おりい みき)さん

令和元年 第3回定例会 9月2日～9月27日

名寄振興公社に対する補助金及び貸付金に関する一般会計補正予算は議案撤回。議案の撤回を受け「名寄振興公社運営に関する審査特別委員会」の審査を終結。継続審議が必要との判断により、「名寄振興公社のあり方に関する特別委員会」を新設。

令和元年第3回定例会は9月2日～27日までの26日間を会期とし、初日に提案された一般会計補正予算(第4号)に対し、名寄振興公社に対する補助金及び資金貸付に関わる重要案件であることから、「名寄振興公社運営に関する審査特別委員会」を設置。付託議案として集中審議を行いました。18日に当該議案の撤回が承認となったことに伴い、特別委員会の審査は終結(詳細は11ページ)。改めて最終日に「名寄振興公社のあり方に関する特別委員会」を設置し名寄振興公社のあり方を検討することとしました。また、「名寄市廃校体育施設の設置及び管理に関する条例の制定」を委員会付託し、委員長報告のとおり原案可決したほか、条例の制定及び補正予算などの議案34件を原案どおり可決しました。

条例の制定及び改正

☆名寄市廃校体育施設の設置及び管理に関する条例の制定

本市では文化及びスポーツの普及振興を図るため、学校施設を開放してありますが、廃校となる学校の増加に伴い、利用可能な屋内運動場が減少している状況にあることから、廃校となった屋内運動場のうち、当面利用可能な施設を市

民の活動の場として確保することを目的に条例を制定しました。

☆名寄市印鑑条例の一部改正

住民基本台帳法施行令等の一部が改正されたことにより、本年11月5日から住民基本台帳において旧氏の併記が可能となることから、旧氏の印鑑登録を可能とするため、条例の一部を改正しました。

☆名寄市立大学奨学金給付条

例の一部改正

名寄市立大学の在學生への奨学金給付を定めた条例を制定し、平成31年4月1日から施行してきましたが、給付対象者を現行2年次から4年次までとしていたものを、学生確保を図る観点から、1年次の学生を加えるため条例の一部を改正しました。

☆名寄市総合福祉センター条例の一部改正

名寄市総合福祉センターについては、これまで多目的ホール及び視聴覚室を一般開放しておりましたが、新たに「会議室2」の空き時間を有効利用することを目的に利用料金等を定め、一般利用も可能にするため、条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆広域行政推進事業費

北海道がJR北海道に対し交付する北海道鉄道利用促進環境整備交付金に係る市町村支援金として、宗谷本線活性化推進協議会への負担金108万3千円を計上しました。

☆地域介護・福祉空間整備等施設整備事業費

認知症高齢者グループホームの大規模修繕や非常用自家

発電設備の整備に対する補助金として1009万9千円を増額しました。なお、財源は国の制度により補填されます。

☆介護人材就労定着支援事業費

実務者研修に係る受講者の増などに対応するため64万9千円を増額しました。

☆体育施設管理運営一般行政

経費

名寄市B&G海洋センターの漏水に対する調査手数料として58万3千円を増額しました。

☆体育施設整備事業費

ピヤシリシヤンツエジャンプ競技システムの修繕やピヤシリフォレストろ過装置交換工事の実施経費として593万8千円を増額しました。

☆名寄振興公社経営改善事業

費

名寄振興公社の施設の運営上緊急に必要な資金として、公社の経営安定を図るため、名寄振興公社緊急運営資金貸付金6055万円を追加しました。

人事案件

◆人権擁護委員

西 條 知加子氏(新任)
名寄市西5条南8丁目16番地3

令和元年 第3回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市廃校体育施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市下水道事業及び名寄市個別排水処理施設整備事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第3号	指定管理者の管理期間の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市印鑑条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	名寄市立大学の授業料等徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	名寄市立大学奨学金給付条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	名寄市総合福祉センター条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	名寄市保育所に関する利用者負担額等を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	名寄市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	名寄市立総合病院食堂等使用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	名寄市有給吏員退職料等支給条例の廃止について	原案可決
議案第16号	名寄市特別用途地区建築条例の廃止について	原案可決
議案第17号	財産の取得について	原案可決
議案第18号	令和元年度名寄市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第19号	令和元年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第20号	令和元年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第21号	平成30年度名寄市一般会計決算の認定について	認定
議案第22号	平成30年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定
議案第23号	平成30年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について	認定
議案第24号	平成30年度名寄市下水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第25号	平成30年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計決算の認定について	認定
議案第26号	平成30年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について	認定
議案第27号	平成30年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定
議案第28号	平成30年度名寄市立大学特別会計決算の認定について	認定
議案第29号	平成30年度名寄市病院事業会計決算の認定について	認定
議案第30号	平成30年度名寄市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第31号	令和元年度名寄市一般会計補正予算（第4号）	議案撤回
議案第32号	名寄市パートタイム会計年度任用職員の報酬、手当及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決
議案第33号	名寄市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定について	原案可決
議案第34号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第35号	令和元年度名寄市一般会計補正予算（第5号）	原案可決

《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ							議 公 共					
			富岡達彦	倉澤宏	山崎真由美	佐久間誠	佐藤靖	高野美枝子	三浦勝秀	今村芳彦	五十嵐千絵	遠藤隆男	清水一夫	塩田昌彦	東川孝義	山田典幸	黒井徹	東千春	高橋伸典	川村幸栄
議案第21号	平成30年度名寄市一般会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第22号	平成30年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



まちづくりは全員参加で

市民ネット 山崎 真由美 議員

「子ども議会」で意識啓発を

問 今回の参院選での10代投票率は34%にとどまっている。主権者教育の一環として、小・中学校では、市長・教育長と懇談する「ふるさと未来トーク」が開催されているが、さらなる意識啓発を目的とした「子ども議会」開催の考えは。

答 行政や議会のしくみを学び、市議会の模擬体験を通じて、まちづくりに対する興味・関心を育むとともに、子どもの自由な発想を活かした意見・要望を市政へ反映させることを目的にした「子ども議会」ではあるが、本市では多くの子ども達が、主体的に関わることができる「ふるさと未来トーク」の取り組みが有効であると考えている。

公衆浴場の確保を

問 8月をもって、本市の公衆浴場がなくなつた現状をふまえ、衛生面での必要性と

もに集いの場や子ども達の道徳性育成の場等、多くの価値が考えられる公衆浴場である。今後の展望は。

答 現在、全ての公営住宅への浴室整備が完了していること、なよろ温泉サンピラーがあること等から、本来的な公衆浴場の使命はほぼ完了したと考える。利用の便宜を図る上で運行している日進ピヤシリ線の無料バスについては、更なる利便性向上を目指し、検討課題としていく。

他の質問・パブリック・コメントによる意見集約について情報公開の方法について



なよろ温泉サンピラーの浴場



市民主体のまちづくりを

市政クラブ 東川 孝義 議員

平成30年度の行政評価は

問 平成30年度は、総合計画（第2次）前期実施計画事業を、2力年で評価している。基本目標ごとの事業評価と、C評価事業の対応は。

答 基本目標ごとの評価結果では、目標ごとに違いはあるが、全体でA評価が78%となっている。行政評価は4段階となっており、第2段階の庁内ワーキンググループ評価がより厳しい傾向にあり、自浄作用が働いていると考える。

C評価は3事業が対象となっており、当該事業を具体化する予算査定、ローリング及び行政評価の結果を反映することとで、事業の見直しを担保するプロセスを構築している。

安定した下水道運営は

問 名寄市下水道事業は、多額の資本投下を要することから、中期計画、経営戦略に基づき実施されているが、各事業の結果と対応は。また、来

年度から導入予定の公営企業会計の対応は。

答 中期計画は概ね計画どおりの進捗であり、29年度より不明水対策の事業着手を行っている。経営戦略では中期計画との整合性を図りつつ、経営の効率化及び健全化を目指す。また、全体の60%に当たる下水道管の老朽化対応に着手している。公営企業会計の導入に向けて、分かりやすく、的確な経営を図るため準備を進めている。

他の質問・閉校施設の利活用に向けて、旧豊西小学校グラウンドにドックラン設備を



夏場の利活用が期待される旧豊西小学校グラウンド

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 農福連携の推進について
 名寄市における農福連携の現状と課題について伺う。

答 現状として、市内の農家



障がい者が「働く喜び」をもてる支援体制を

障がい者福祉の推進について



住みつづけたいまちづくり

市政クラブ 遠藤 隆男 議員

問 名寄市の障がい者の就労状況・支援体制について伺う。

答 実雇用率は2・52%と法定雇用率2・2%を上回っており、昨年度は一般就労希望者17人全員が市内の企業に就職している。今後も関係機関と協力・連携を図り、就労支援の充実に努めていく。

問 相談支援及び地域生活支援への取り組みについて伺う。

答 「基幹相談支援センター事業ばっけ」が窓口となり、子どもから大人まで切れ目のない相談体制を構築している。このほか、民間の福祉施設が運営している相談窓口も市内に3カ所あり、合計4ヶ所の相談窓口を開設し、障がいに関する様々な相談に対する支援を行っている。

9戸が受け入れており、4つの福祉事業所等でも取り組みが行われている。農業者を対象とした研修会を開催しているが全体的に関心が低く、また、通年での作業ではなく、同行する職員の不足、指導の難しさが課題となっている。

他の質問・生活環境等整備について、障がい者への理解及び障がい者の重度化・高齢化について、農福連携の考え方

鉄塔倒壊停電時の市の対応



市の防災について

市政クラブ 清水 一夫 議員

問 停電時におけるガソリンスタンドのポンプアップ不能時の燃料確保は。

答 平成23年に、上川北部石油業協同組合と「災害時における燃料供給等に関する協定」を結んでいるので、災害時には、優先的に燃料を供給していただくことになっている。また、石油業協同組合でも、停電時を想定して発電機を用いたポンプアップ訓練などを平成29年度に行っており、本年9月24日にも訓練を実施すると伺っているので、停電時でも速やかな対応が期待される。

問 本年度の名寄市防災訓練の成果等について。

答 訓練参加各町内会からの発見課題の発表で、自助・共助に関する建設的な意見と「早期の自主防災組織の設立」に向けた発言がされた。



名寄市防災訓練（避難訓練実施中）

次年度以降の防災訓練については、今後検討していくことになるが、これまでの訓練については、3年間継続して取り組んだことで、新たな視点での訓練も視野に入れて検討を進めてまいりたいと考えている。

他の質問・スキーツアーなどインバウンド（訪日外国人）受け入れ施策、健康の森クロスカントリーコースの整備進捗状況について

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



高齢化社会にむけた支援策を

市民ネット 倉澤 宏 議員

事業承継と企業誘致について

問 市内事業所数の減少は高齢化の進むなか、市民生活に少なからず影響があると考えるが解決に向けた取り組みは。
答 経営相談・財政支援を行う中で新規創業の誘導と後継者不足による廃業を防ぐ支援体制を構築していく。

問 企業誘致への具体的な取り組みは。
答 遊休市有地の工業団地としての造成はリスクが高く慎重な対応が必要であるが、支援制度の情報発信と地域資源を活用した産業の誘致活動を展開する。

高齢世帯の生活支援について

問 ゴミ出し支援への考えは。
答 高齢化による分別を含めたゴミ出し困難世帯は把握しているだけで50世帯程度。地域包括支援センターと連携し支援のあり方を検討していく。
問 ステーション方式収集の課題と対策は。



高齢者がゴミ出しに苦慮するステーション方式(風連地区)

答 風連地区の収集方法により高齢者がゴミ出しに苦慮している問題については地域課題であり、状況の把握と解決策の検討を進める。また、個別収集への統一についても状況を把握し検討したい。
問 高齢者の生活支援の手法として地域おこし協力隊の活用への考えは。
答 高齢者に対する生活支援体制整備の方策の一つとして研究する。



中心市街地活性化について

市政クラブ 三浦 秀 議員

空き家対策について

問 空き家及びび空き店舗対策の効果検証と今後の展望について。
答 空き家の現地調査を29年度から2力年で実施し市広報誌を通して空き家管理者に啓発活動を行っている。通報を受けた所有者に直接連絡し、半数以上で修繕等の改善が行われている。

問 老朽化が進んでいる営業中店舗の改善・指導について。
答 「勧告」「命令」による強制的な解消は多大な費用がかかることから自主的な改善を求めている。
問 中心市街地の長期的なまちづくりの推進について。
答 経済活性化のために中心市街地の果たす役割が大きいと認識しており、支援策を継続していく。また、「名寄市立地適正化計画」の策定に向けて、包括的なグランドデザインを検討していく。

観光振興について

問 名寄市観光振興計画の進捗状況と事業評価について。
答 スポーツツーリズムや広域連携の推進により外国人観光客の宿泊数が増加している。
問 観光客の市内消費増加に対する考え方について。
答 単一市町村の取り組みでは通過型観光となる傾向があることから近隣市町村との連携を推進する。

問 イベント事業の効果検証について。
答 イベント事業の多くが交流人口の拡大に寄与している。イベントを行う目的として「まちづくりの意識向上」・「郷土愛の醸成」・「歴史文化の継承」

等の効果もあり総合的に検証し事業に取り組んでいく。



中心市街地から地域活性化を

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

働き方改革への対応
問 建設業における働き方改革の施行による影響及び今後の課題と対策について。
答 長時間労働の是正や公正な待遇の確保など、働き方改革を推進するための「働き方改革関連法」が施行され、建設業に関しても、改正労働基準法の見直しにより、適用に一定の猶予期間はあるが時間外労働の上限制限や罰則規定が盛り込まれている。一般的に週休二日制を実現できる職場は少ないと認識しているほか、技術労働者の高齢化や若手の成り手不足なども顕著で、将来、建設業が成り立たなくなる可能性もあるため、対応策が必要と認識している。労働者の処遇改善や福利厚生の実など、官民が連携して進める必要があり、安定的な事業が確保できれば労働者の安定した確保につながるし、建設事業発注の平準化や適正な工



働きのやすい環境整備

市政クラブ 塩田昌彦 議員



建設業における働き方改革が求められている

期設定、生産性向上などの推進策が必要であることの認識はしているが、現状では、夏期に工事が集中しており、労働時間を制限した場合は、工期の長期化や工事費の増加は避けられず、労働者確保と共により大きな課題である。今後の公共事業において、各事業の発注時期の調整など平準化を図り、この地域における季節的費用など、建設業界の現状を踏まえながら、推進したい。
他の質問・名寄産業高校が担う農業担い手対策、名寄市立大学を活用した地域ケア力向上プロジェクト事業の取り組みについて

名寄市病院事業について
問 随時募集されている医療スタッフの充足率と離職率は。また、看護師確保のため貸し付けしている学資金の効果は。
答 医師を除いた全職種の正職員新規採用者の離職率は29・1%、看護職だけの場合は31・2%が離職している。充足率の統計は取っていないが、診療報酬加算の要件は満たしているので充足していると考えられる。また、学資金制度は過去10年間の採用者のうち、67・2%が利用しており、看護職員配置を継続していくために有効な制度である。
問 外来の待ち時間対策は。
答 1日あたり940人が受診し、うち7割が午前の受付多い診療科では1時間に14人の受診がある。医師業務の一部をシフトするなど対策を取っているが、なかなか効果が現れないのが現実であり、対応を検討していく。



未来につながるまちづくりへ

市政クラブ 今村芳彦 議員



広域での活躍が期待される名寄市立総合病院

風連地区の課題について
問 市街地再開発事業から10年が経った。その影響と今後の課題は。
答 事業の事前・事後でアンケートを行い、一定の評価がされていると考えている。今後も地域の中心施設として利用して頂けるよう情報発信してゆく。
他の質問・空き家対策について、高齢者向け施設について、除排雪業務について、道路維持管理について

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



観光振興について

市民ネット 富岡達彦 議員

風っこそいや号の総括は

問 風っこそいや号の運行が、観光振興に果たした役割とその評価について。広域連携によるおもてなしの内容を伺う。

答 名寄駅での乗降客数は10名程度だったが、運行に伴い本市を訪れた観光客も多くなり、一定程度の経済効果があった。官民一体となったおもてなしを展開し、のぼり旗を立て、手拭いを振って歓送迎をした。乗客へポストカードの配布、復刻版ニシンカズノコ弁当は268個売り上げた。特産品販売や、キマロキの汽笛吹鳴は好評を得た。

問 来年以降、継続的に観光列車運行に取り組み考えは。

答 JRが先頭に立って観光列車の価値を作り出すと同時に、沿線自治体も積極的に協力していく。

問 サイクルツーリズムの推進を多様化する観光ニーズに対応する「サイクルツーリス



JR東日本所属の「びゅうコースター風っこ」窓ガラスを外して、野趣と風を楽しめる観光専用車両だ

ム」の推進と、地域観光資源の再発掘について。サイクルツーリズム振興に関わる道路等の環境整備について伺う。

答 自転車を活用したまちづくりと観光振興を模索。地域の観光資源を、なよろサイクリング周辺マップに反映させている。訪れるサイクリストからの意見を参考にし、受け入れ環境の整備を進めていく。

他の質問・桜の名所「弥生公園」の支障木伐採後の公園整備と山桜の植栽について



包括ケアと健康寿命の延伸を

公明 高橋伸典 議員

高齢者に自分らしい暮らしを

問 高齢者への支援や介護予防など、より生きがいを持つて生活できる地域の実現を目指すことが重要。地域包括ケアシステム構築のためのICTによる医療機関と介護事業所などの効率的な連携は。

答 医療と介護の連携で、ICTを活用した地域包括ケアシステムを構築を検討し進める中、患者や利用者の同意のもとカルテ・レセプト・ケアプラン等の情報を、医師、薬剤師、ケアマネージャー、介護福祉士等がその情報をお互いに閲覧できるシステムを構築し、医療連携システムの「ポラリスネットワーク」の医療データも利用を検討している。

問 通いの場事業の拡充を

高齢者の多くは複数の疾患を持ち、年齢を重ねるほど身体機能の低下や社会的つながりが減少する。介護予防教

室や健康相談や買い物支援ができる「名寄市通いの場事業」拡充の考えは。

答 「通いの場」は、一般介護事業の一環として1町内会が買い物支援に付随した事業として実施している。通いの場を実施するうえでの課題は、事業に協力できる担い手不足や実施場所の確保が難しく、年間40回の開催が困難である等が挙げられる。解決策として、担い手の発掘、実施会場の確保や立ち上げ等の支援を含め、生活支援コーディネーターの協力を得ながら、「通いの場」を増やしていきたい。

他の質問・フレイル予防、認知症対策、高齢者の安全運転支援と公共交通網の充実



健康寿命を延ばし元気で長生きできる社会を

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



名寄大学の将来と市民の安全

市民ネットワーク 高野美枝子 議員

名寄市立大学の将来展望

旭川市が類似学科の多い旭川大学の公立化等を進めていくことに対し、名寄市として今後どのような対応を考えているのかお聞きしたい。旭川市長は名寄市長と連携して進めると一般質問で答弁。加藤市長の考えをお聞きしたい。

答 学部構成が類似し学生、教員確保に多大な影響があると危惧している。教育力の強化がさらに重要。国家試験合格率や正規職員就職率も名寄市立大学は高い。学生支援策を高校生や保護者にPRしていく。大学院開設も検討しており意見交換に入った段階。「3月に旭川市長が名寄市を訪れ影響が出ないようになしたとの話はあったが具体策はなかった。できれば再考してほしいと話している」。

公園や街路樹の管理

問 街路樹の美観を損なう剪定等をしている。風連望湖台



きらりと光る名寄市立大学

の句碑は笹藪の中にある。公園の除草剤の散布について。答 安全等のため芯止めをしている樹木もある。基本的に除草剤は使っていないが草刈機で草刈り不可能なところだけ市販の安全なものを少量使っているところもある。町内会と連携を取りながら対応したい。句碑は文化協会と協議する。

他の質問・子どもの医療費の無料化、子どもの権利条約制定、通学路の安全対策、案内版や案内標識、防災



子どもたちの命を守るために

日本共産党 川村幸栄 議員

虐待防止の取り組みについて

問 虐待と思われる傷ましい事件が相次いでいる。児童相談所での対応件数は平成29年度で13万3778件となっている。児童相談所との連携はどのように行われているのか。

答 児童相談所と自治体が、情報伝達・連携、指導・助言を効率的・効果的に行う体制づくりの充実が重要となってきた。市はこれまでも虐待案件があった場合は逐一報告し、要保護児童対策地域協議会のケース検討会議を開催し、児童相談所も交え対応の協議をしてきた。今年4月から、子ども家庭総合支援拠点事業を開始。社会福祉士と保育士の資格を持つ支援員を配置し対応の強化を図っている。

問 転入・転出等による連携、情報提供については。

答 保健センター間での情報連携、家庭児童相談員を配置

している部署における情報連携を実施し、継続した見守りができる体制を整えている。

問 子どもが権利の主体として自分の権利について知ることが重要。子どもの権利条約制定に対する考えは。

答 次期子ども子育て支援事業計画において、子どもの権利を守り、不利益を被ることがないように取り組んでいく。

他の質問・名寄市立大学のあり方に関わって、名寄東病院の今後について



子育ての孤立をさせないことも大切です

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



学校を核とした地域づくり

市政クラブ 山田典幸 議員

問 名寄市が目指す学校のあり方

本年6月をもって市内すべての小中学校がコミュニティ・スクールとなったが、今後名寄市として目指すべき学校のあり方と、それに向けての取り組みについて伺う。

答 協議等の状況は。

現在国では、2022年度までに地域と学校が連携協働して行う地域学校協働活動を推進する体制である「地域学校協働本部」を設置するという目標を掲げている。今後は各学校のコミュニティ・スクールと、社会教育の体制としての地域学校協働本部が相互に補完し高め合う体制づくりを進め、学校教育と社会教育が一体となった形での「地域とともにある学校づくり」の更なる充実を図っていく。

他の質問・新学習指導要領における外国語活動と外国語授業について、名寄市地域公共交通網形成計画にかかわって

問 市内高等学校の今後のあり方

昨年3月、2023年度を目途に市内高等学校2校を再編統合するよう道教委に対して要望をしたが、その後の



地域の力で魅力ある学校づくりを

令和元年

第3回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎プラごみ対策とごみを出さないシステムの確立を求める意見書
- ◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

議会スナップ

美深町議会

「議会運営に関する研修会」

8月21日、名寄庁舎において美深町議会と名寄市議会との意見交換会が行われました。今回の意見交換会は美深町議会より議会運営にかかわる研修会として名寄市議会の議会運営、議会改革の取り組みなどで意見交換を行いたいとの申し出があり実現。美深町議会からは南議長、斎藤副議長、小口議員会長（議運委員長）ら8名が参加されました。名寄市議会からは、説明員として、正副議長、議運正副委員長、議会報特別委員会委員長が出席。他の議員は傍聴として参加しました。インターネット中継、議会報告会の人集めの苦労などについて意見交換をし交流を深めました。



美深町議会と初めての意見交換会

名寄振興公社運営に関する 審査特別委員会報告

第3回定例会初日に、理事者より経営悪化が明らかになった第3セクター名寄振興公社の経営改善に対し財政支援をする一般会計補正予算が提案されたことから、議案を名寄振興公社運営に関する審査特別委員会に付託し、審査を行いましたので経過を報告します。

確かな分析で対策を

9月2日設置の委員会において、会期内での審査日程であることから、当面の審査日程及び具体的審査に向けての資料要求、参考人の取り扱いについて等、委員個々のベクトルを合せ進めて行くことの確認を行いました。第2回の委員会では、資料要求、経営改善計画、参考人招致の具体的内容の確認後、市民からの意見をどの様に聴取して行くかの協議を行いました。市民説明会を開催するには、限られた審査日程の中で、場所、日数など課題が多いことから、議員個々が市民の意見を聞き取り、委員会に反映することを確認しました。具体的な審査に向けて、論点を明確にして審査を進めて行くために、現状分析を行った上で、次のステップとして、経営改善計

画と補正予算の審議を進める

こととしました。資料要求した①平成30年の売掛金及び販売費・一般管理費増の分析。②平成26年度から平成30年度までの職員数、人件費、指定管理料の推移。③年平均1千万円程度の赤字となる根拠。④名寄市への繰り入れ状況と名寄市からの繰り出し状況。⑤株式会社名寄振興公社組織図の5点について説明を受け、委員からは組織に問題があったのでは。体制が変わらなければ組織は変わらない。前支配人とのコミュニケーションが取れていたのか。市の財政支援が1度だけでなく繰り返し出てくる懸念がある。経理や専門職人材の確保に向けた人件費をどう捻出するのか等多くの質疑が交わされました。

参考人招致を終えて

第3回委員会は、参考人招



第3回特別委員会の様子

致の出席を求めた5人中、久保社長、千田副支配人、中村監査役の3人が出席されましたが、前支配人及び民間の前監査役は届け出があり欠席となりました。各々の参考人から、事前の質問項目に沿って意見が述べられ、質疑では公社の管理体制、業務分担、組織の甘さについての指摘など、数多くの質疑が出されました。

収支計画の説明を受けて

第4回委員会は、収支計画の説明を受ける前に、橋本副市長より、使途不明金の取り扱い、今後のピヤシリスキー場の運営に当たる専門人材への打診等の説明を受けました。公社の年次別収支計画書では、市からの貸付金と経営改善補助金を前提に経営の黒字化を目指す内容で説明があり、委員からは、指定管理料の追

加分並びに公社としての経営努力が足りない等、多くの質疑により、経営改善計画の信頼性などへの疑問が出されました。

議案撤回で特別委審査最終

9月18日に理事者より、9月上旬にサンピラー温泉男性浴場の天井破損で、今後の修繕対応を含め、経営改善計画を再精査して再提案するとして、振興公社支援の補正予算の撤回がなされたことから、議案の付託を受けていた特別委員会審査も最終することとなりました。

新たに特別委を設置

名寄振興公社に対する審査が道半ばで終結したことから、議会として、名寄振興公社の経営形態、施設整備、振興公社のあり方について一定の方向性を見出すことを目的に、新たに特別委員会を設置し議論を継続することとしました。



抜本的な経営改善が求められる名寄振興公社

平成30年度決算審査特別委員会

平成30年度の決算を認定

第3回定例会において、平成30年度の各会計決算について、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し内容を審査しました。

第1回委員会を9月2日に開催し、委員長に佐久間誠委員、副委員長に塩田昌彦委員を選出しました。

第2回目以降は、9月24日から27日までの4日間で実質審議に入り、各会派の代表による総括質疑並びに委員による質疑が行われ、職員研修、男女共同参画、子育て支援、健康増進や医療、農業に関する施策、教育、市立大学に関することや病院事業など、多岐にわたる課題について、事業の成果や今後の展望、市民生活の向上に向けた事業の継続や改善を求めるなど、適正な予算執行に対し慎重な審査を行いました。

審査の結果、全会計決算中、一般会計及び国民健康保険特別会計については賛成多数に

より、その他の介護保険、下水道、個別排水、食肉センター、後期高齢者医療、大学の6特別会計と病院事業会計、水道事業会計は全会一致で認定しました。

委員会としては、各会計決算はいずれも正確な収支が行われ、予算の執行が適正であったことを認め結審しました。



佐久間誠委員長(左)と塩田昌彦副委員長(右)

決算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

地域子ども子育て支援事業費

問 子育てコンシェルジュの役割や保健センターなどとの連携状況は。

答 「ひまわりらんど」で子育てサービスなどの情報提供をしている。また、相談業務を保育士経験者が担任し、発育や成長の相談にも応じており、保健センターの相談内容を引き継ぐなどの連携も行っている。

道路橋梁維持管理事業費

問 道路の維持管理に関し、防塵処理ではなく舗装工事を優先できないか。

答 未改良の道路に対しほこりを押さえるために防塵処理を行っている。改善には道路の改良舗装工事が必要となる。少しずつではあるが舗装率を上げるため、国の補助事業も活用しながら事業を進めている。

農業担い手支援事業費

問 集落支援員が、新規就農者と関係機関や地域との橋渡し役となっているが現状は。

答 新規就農者や地域おこし協力隊との連携のほか、新規就農者支援チームとも連携し必要な支援や情報共有をしている。また個別に対象農家の巡回も行っており新規就農者等のサポート役として活躍している。

冬季スポーツ拠点化事業費

問 合宿の入込が増加傾向にあるが要因は。また、合宿者が市にもたらす経済効果は。

答 大会誘致の成功や市内の各関係団体の協力、市が雇用するスポーツアドバイザーの情報発信力が大きく影響している。経済効果は、平成30年度の8,329名の合宿入込に対し1億1,400万円と試算している。

決算審査特別委員会総括質疑



決算の評価と財政指標について

市政クラブ 山田 典幸 委員

30年度決算の評価について

問 平成30年度の事務事業の執行に対する総合的な評価について見解を伺う。

答 市民の多岐にわたる様々な要望やニーズを把握し、新たな事業や拡充した事業など積極的に取り組み、市民にも一定の評価を頂ける決算と考えているが、一方では財政調整基金等の取り崩し等があり、今後、実質収支、実質単年度収支の赤字など、財政運営に課題の残る決算でもあった。

財政指標等の数値の認識は

問 健全化判断比率（実質公債費比率、将来負担比率）の数値についての認識と、財政力指数、経常収支比率の数値の認識と今後の推移については、健全化判断比率については、現在の数値は健全な状態であるといえる。また財政力指数についてはここ数年ほぼ変化のない数値となっている。しかしながら、財政の弾力性を示す経常収支比率については、経常経費の削減に努めているものの、義務的経費の増加や普通交付税の減少などから上昇傾向にある。実質収支や実質単年度収支の状況から、本市の財政状況はこれらがより厳しさを増すと考えている。引き続き各指標の数値の推移を念頭に、市民に不安を与えることの無いよう健全な財政運営に努める。



事業の選択と集中により健全な財政運営を



市民の期待に応える運営を

市民ネット 佐藤 靖 委員

指定管理料の流用は適正か

問 当該年度において、指定管理料を支払っている名寄振興公社で不適切な資金調達が行きかたになり、道と市に合わせて6055万円の債権譲渡通知が届いたが、指定している施設の管理のためではなく、他の施設管理に指定管理料を流用した場合、適正な支出として認められるのか。

答 指定管理施設が適正に管理されていると判断されれば問題は無いが、地方自治法244条の2の解釈から、理論的に流用は想定されていない。

個別計画の策定期間は

問 決して楽観視できない財政状況にあつて、名寄市公共施設等総合管理計画の完遂は不可欠だ。この計画を具現化する個別計画の策定期間は、個別計画を分野別、施設ごと、喫緊課題の施設対応など、策定方法について検討研究しており、2020年末まで

今後の財政見通しは

問 人口減少が続く中で、来年10月1日に地方交付税などの算定根拠となる国勢調査を迎えるが、財政への影響は。

答 地方交付税は歳入の40%を占めており、人口減は大きな影響を及ぼす。2022年には公債費がピークを迎えることもあり、収支不足に備えるため基金を積み上げながら、起債とバランスを取った財政運営に努める。



名寄振興公社で不適切な資金調達が明らかに

総務文教常任委員会活動報告

第3回委員会を7月9日に開催し、総務部から名寄市自治基本条例見直し、宗谷本線維持存続にかかる地域負担額、名寄市強靱化計画策定、プレミアム付商品券発行事業、地方創生推進交付金について説明を受けました。

教育部から旧下多寄小学校利活用に係る関係団体の協議経過、新図書館整備コンセプト案の説明を受けました。

第4回委員会を7月31日に市立大学で開催し、旭川大学の公立化による影響、高大連携、定例会提出案件の概要の説明を受けました。

第5回委員会を8月22日に開催し、教育部から定例会提出条例の概要、総合政策部からまち・ひと・しごと創生基本方針、プレミアム付商品券発行事業、地方創生推進交付金事業、名寄市立大学から定例会提出案件の概要について、総務部から会計年度任用職員制度の概要、定例会提出案件の概要について説明を受けま

した。

第6回委員会を9月10日に開催し、第3回定例会付託議案第1号「名寄市廃校体育施設の設置及び管理に関する条例の制定について」、資料説明のあと審議を行いました。



施設利用のルールが定められた旧日進小学校(左)と旧東風連小学校(右)の体育館

第7回委員会を9月17日に開催し、付託議案の質疑を再開しました。未成年に対する付き添いについて、利用促進を考え「原則」を入れるべきと安全と不測の事態への対応等の意見が出され、審議がなされました。その後、法制担当の意見を確認することになりました。

第8回委員会を9月18日に開催し、法制担当の回答、教育部長から規定と運用で配慮するとの発言を受け、質疑を終結し、全会一致で可決すべきものと決定しました。

住民の声で議会の活性化を!! 議会を傍聴しませんか!



定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。
◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
◇問い合わせは議会事務局(☎01654-3-2111)へお申し出ください。

議会日誌 8~9月

- 8/7 経済建設常任委員会
- 8/8 市民福祉常任委員会
- 8/9 議会運営委員会
- 8/16 議会運営委員会
- 8/19 各会派代表者会議
市民福祉常任委員会
- 8/20 経済建設常任委員会
- 8/22 総務文教常任委員会
- 8/27 各会派代表者会議
- 8/28 議員協議会

- 8/30 議会運営委員会
議会報特別委員会
- 9/2 令和元年第3回定例会開会
名寄振興公社運営に関する
審査特別委員会
決算審査特別委員会
議員協議会
- 9/6 名寄振興公社運営に関する
審査特別委員会
- 9/10 総務文教常任委員会
- 9/11 各会派代表者会議
名寄振興公社運営に関する
審査特別委員会

- 9/17 名寄振興公社運営に関する
審査特別委員会
- 9/18 総務文教常任委員会
各会派代表者会議
議会運営委員会
- 9/24 総務文教常任委員会
決算審査特別委員会(~27日)
各会派代表者会議
- 9/25 議会運営委員会
- 9/27 令和元年第3回定例会閉会
名寄振興公社のあり方に関する
特別委員会
議員協議会

市民福祉常任委員会活動報告

第3回委員会を7月8日に開催し、保健福祉部より子ども子育て支援法の一部を改正する法律の概要説明を受けました。基本理念、子育てのための施設等利用給付の創設、費用負担は令和元年10月1日（一部の規定については、公布の日から）施行。幼稚園、保育所、認定こども園を利用する子どもたち、幼稚園の預かり保育を利用する子どもたち、認可外保育施設を利用している方への具体的説明を受けました。無償化に関するスケジュールでは9月条例改正予定で3歳以上児に係る利用者負担額をゼロとし用語の整理を行い、副食費と主食費は保護者の負担となり詳細については説明会で行うとのことでした。

また「第2期名寄市子ども子育て支援事業計画」の策定に向けたアンケート結果について説明がありました。

第4回委員会は8月8日に開催し、市民部より「日の出



子ども子育て支援制度がスタート

湯」解体に係る助成の要望。合同墓に関するアンケートの実施について説明を受けました。

今期の市民福祉常任委員会でのテーマは「フレイルを予防する取り組み（健康寿命の延伸と健康格差の縮小）」とし視察先や視察テーマについて議員間で確認しました。

第5回委員会は8月19日に開催されました。市民部からは名寄市印鑑条例の一部改正、道内都市における名寄市の収納率、平成30年度市税収入状況調査。平成30年度名寄市に

おける税込納納状況、一般廃棄物処理広域化基本計画の見直し、共同飲料水供給施設等補助金（智北共同水道組合）について説明を受けました。

健康福祉部からは名寄市総合福祉センター条例の一部改正、名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正、名寄市家庭的保育事業などの設備運営に関する基準の一部改正、名寄市保育所に関する利用者負担額の変更について説明を受けました。

名寄市立総合病院からは食堂などの使用料徴収。紙オムツ・病衣・診断書・初診の選定料などの説明を受けました。



今期のテーマをフレイル予防に

議会スナツプ 風連ふるさとまつり

8月13日、風連ふるさと祭りが開催され、メインイベントとなる夜のおんどん行列に市議会議員有志として参加しました。

昨年度の故障？を自分たちで修理したことでもいっそう愛着を持ち、見違えるほど美しく仕上がったおんどんでの行列参加は感激もひとしお。少々肌寒い気温でしたが、日頃の運動不足による足腰の悲鳴もなんのその。

沿道からたくさんの方の声を聞いて、せめて心は軽やかに風連を彩ることが出来ました。終了後には名寄市内で慰労会を兼ねた反省会を行い相互交流を深め、とても有意義な夏の一夜となりました。



出発前、小粋なはっぴ姿で記念撮影

経済建設常任委員会活動報告

7月12日に第3回委員会を開催し、株式会社名寄振興公社の債権譲渡問題の状況について、現在原因究明中であり第3回定例会までに詳細を説明したいとの報告を受けました。

8月7日の第4回委員会では、母子里牧場未利用地の貸付について、ずっと住まいる応援事業の進捗状況について、JR観光列車「風つこそうや」号について、名寄市都市計画マスタープラン見直し及び名寄市立地適正化計画策定状況について、名寄市下水道事業及び名寄市個別排水事業の地方公営企業法適用にむけての今後のスケジュール等についてそれぞれ所管部署から説明を受けました。

8月20日の第5回委員会では、経済部所管事項として有害鳥獣農業被害防止対策実施状況について、哺育・育成センター設立検討状況について、各種交流事業の実施状況と今後の予定について、第3回定



まるく牧場（智恵文地区）の搾乳ロボット

例会提出予定の名寄市一般会計補正予算案、強い農業・担い手づくり総合支援交付金及び林業振興事業費についてそれぞれ説明を受け、建設水道部からは、建設水道部所管事業の進捗状況について、第3回定例会提出予定の名寄市一般会計補正予算案について、名寄市特別用途地区建築条例の廃止について、名寄市下水道事業及び名寄市個別排水処理施設整備事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整

備に関する条例の制定について、名寄市水道事業給水条例の一部改正について説明を受けました。また午後からは現地視察を行い、智恵文地区の大豆生育状況、畜産クラスター事業にて整備された智恵文地区まるく牧場の牛舎等の施設、曙地区において水稻生育状況とICT農業のデモ、東8号線老朽管更新工事、西1条道路路改良舗装工事、北斗団地公営住宅建設工事、食肉センター改修工事の状況等を確認し、担当職員からそれぞれ説明を受けました。



建設中の北斗団地を視察

林活議連冬囲い

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟（全議員加入）では、8月28日、健康の森に植樹している桜の幼木の冬囲い作業を行いました。当日は、冬囲いの言葉には程遠い気温の日でしたが、いずれ訪れる厳しい季節に備え、幼木の周囲に棒を立てた後、3本を合わせて先端を紐で結び、冬囲いの骨組を作っていました。全体を囲うのはしばらく先になりそうですが、「酷寒の冬を耐え抜き、すくすく育て」との願いを込めて、作業を行いました。



桜の成長を願い冬囲いを実施

議員協議会

8月28日に開かれた議員協議会では、市から名寄振興公社より報告を受けた同公社の修正決算、経営改善計画が示され、精査の結果、累積欠損は4067万円となり、資金ショートが迫っているとの説明がありました。そのうえで市は指定管理施設に支障が出ないよう9月2日開会の定例議会に補正予算を提案予定であると説明がありました。議員からは「市民に不信感が広がっている」などの指摘が数多く出されました。

9月2日に開かれた議員協議会では、名寄市社会福祉事業団の経営状況（2018年度決算、2019年度予算）について説明がありました。また、名寄振興公社の2016、2017年度の修正決算と、再提出された2018年度事業報告書について、市から説明を受けました。質疑については、当日開会された本会議の中で名寄振興公社の経営改善に対する支援の補正予算について特別委員会に付託

されたため行いませんでした。9月27日に開かれた議員協議会では、一般廃棄物処理広域化基本計画の見直しと、次期一般廃棄物中間処理施設の整備について説明がありました。中間処理では現在の炭化方式から焼却方式へ変え、全国で導入実績が多くノウハウが豊富なストーラー方式を採用する方向で検討していると説明がありました。事業スケジュールでは、施設基本設計で1年間など稼働までに計5年間程度必要との説明がありました。



9月27日に開催された議員協議会

議員研修会

7月16日から二セコ町にて2日間の日程で名寄市議会議員会の研修会を行いました。二セコ町の基幹産業は農業と観光で、ホテルや飲食店などが並ぶ様子はさながら海外のリゾート地の様です。二セコ町が取り組んでいる情報共有・住民参加による自治の実践、地熱エネルギーを利用した環境政策や地域経済の循環について学びました。また、スキー場でのコース外滑走対策である独自の「二セコルール」は大変興味深く、多くの質問にも丁寧に答えて頂きました。二セコ町の先進的な自治創生の取組みは、名寄市の町づくりにも大変参考になるものがありました。



地中熱ヒートポンプの冷暖房を備えた町民センターにて

議会運営委員会活動報告

令和元年第3回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、8月30日及び9月18日9月25日に委員会を開催しました。8月30日の委員会では会期を9月2日から27日までの26日間とすること、一般質問は18日から20日の3日間とし13名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は31件、報告4件、諮問1件で議案第21号平成30年度名寄市一般会計決算の認定についての他、7特別会計決算と2企業会計決算を、全議員で構成する決算審査特別委員会に付託し審査することとしました。

9月18日の委員会では、名寄振興公社運営に関する審査特別委員会に付託した議案第31号、令和元年度名寄市一般会計補正予算（第4号）の議案撤回に対する協議を行いました。

9月25日の委員会では、定例会最終日の議事日程等について協議を行い、名寄振興公社のあり方に関する特別委員会の設置に関する協議を行いました。

☆ き ぽ う ☆



バイクライフ

名寄市大通北5丁目16-3 **夏井 善則**

今、勤務する会社から暫しのお暇を頂き、今年、長年の思いのバイク日本一周旅を達成することが出来ました。

3年間要しましたが、毎年4月に東北・中部・四国・九州を回ってきました。

道中思ったことは、何処も過疎化が進んでいることと、特に東北の震災復興は、まだまだ道半場で忍び難い思いをしました。

バイクに乗っていると、廻りの方から、バイクは「危険だから」、「危ないから」とよく言われますが、私は「認知的な乗物」と捉えており、この先のカーブを回ると道路状況はどうなんだろうなど、この後の天候の変化を想像しながら走り、その日によっては「減点をしながら走る」乗物だと思っております。

今、若い世代の方のバイク離れが多いですが、今一度チャレンジしてはどうでしょうか。



若さで地方に活力を

名寄市東1条南2丁目 **堀 伸吾**

私は今年名寄市立大学を卒業し、市内で「学生と創る居酒屋」をコンセプトに居酒屋を営んでいます。店では、幅広い年代層の方でもお客様一人一人を楽しませたい一心で、料理にこだわるのはもちろんですが、お酒の種類も数百種類ご用意しており、全国各地の珍しい日本酒も取り扱っています。そして1番は若い学生と年代の違うお客様が関わる場所とすることで、互いに刺激し合えるコミュニティにしたいと考えています。名寄市は高齢化が進んでいますが、四年制の大学があるため若者が一定数いる特殊な地域です。しかし、学生と市民の方々が関わる機会はイベント事以外では多くありません。そこで、日頃から年代層の違う者同士が関われる場にしたいと考え、地域密着型の居酒屋にしていきたいです。これから名寄市をどんどん盛り上げられるよう邁進して行きますのでよろしくお願いします!!!

表紙の写真は「名寄ピヤシリ柔道少年団」です

名寄ピヤシリ柔道少年団は、小学3年生から中学生までの12名と指導者5名で活動しています。柔道は「礼に始まり、礼に終わる」という言葉があり、子どもたちは柔道を通して礼儀や相手を思いやる気持ちを身に付け、日々厳しい練習にも弱音を吐かず週2回練習に励んでいます。そして、相手への感謝の気持ちを忘れず日々練習を頑張っています。



編集後記

ラグビーワールドカップ日本大会がスタートしました。4年前の前回大会では、日本チームが強豪の南アフリカを相手に「スポーツ史上最大の番狂わせ」といわれる逆転勝利を飾り列島中が大いに沸きました▼今大会でも4年前のワールドカップで世界に衝撃を与えたことを日本で再現し、優勝候補のイギリスを撃破しました。海外出身選手と日本選手が心一つの「日本魂」になったジャパンが、再び世界ラグビーに新たな歴史を刻みました▼試合も感動しましたが、終了後の相手チームが勝利チームの日本を握手で向かえ入れた「ノーサイド」に感動と感激▼来年の東京オリンピックには、間に合わないかもしれませんが、名寄で進めるスポーツ振興で、これらのオリンピック競技会に名寄出身のアスリートが参加しテレビで叫ばれる様な人材が連続登場することを心から祈りたい。

(伸)

